

豊郷町隣保館だより

2026年3月27日発行 豊郷町隣保館 ☎0749-35-0611 No.263



・いろんな人が笑顔で「おめでとう」を伝え合いました♡



『若い世代のための人権まなび塾』

いろいろな「おめでとう」を伝える会々

三月十七日（火）、午後六時から「若い世代のための人権まなび塾 交流学習会」を行いました。

「人権まなび塾」の主な活動は「りんぽかんフェスティバル」を始めとするイベントや行事にスタッフとして参加、大切な役割を担っていています。

また「滋賀県高校生等交流集会」に実行委員として、部落差別をはじめとする人権課題についてそれぞれの考えや想いを語り合う場に参加しています。

今回、メンバーのなかに卒業や成人を迎えた人、そして豊郷を離れて新しい地でこれからを歩む人たちに『おめでとう♡』を伝えようということで隣保館につながるみなさんに参加いただきました。

「日本語読み書き教室」からは、技能実習生として豊郷病院に勤務する三名がネパールの民族衣装を身に付けて参加。また、カップケーキなどを用意いただいた「豊かな郷子ども食堂」のみなさん、崇徳保育園からは氏原先生が参加してくれました。

『想いを伝えるトークリレー』では一言ずつ順に想いを語っていきました。成人となり、豊郷から離れていく古川さんは、「中学のときから隣保館でのいろんなことに参加してきて、ここでたくさんの人に出会えたこと、そしていろんな声をかけてもらったことが私の大切な思い出です。なかなか帰ってこられないけれど、りんぽかんフェスティバルには絶対に戻ってきます(笑)」と笑顔で話してくれました。

『戻りたい場所』として隣保館がある、そう感じてもらえるためにこれからも多様なつながりを生み出せる場として取組んでいきたいと思っています。